

文部科学省産学官連携戦略展開事業(戦略展開プログラム)

平成21年度の首都圏北部4大学連合(4u)の活動について

広域な産学官連携活動・技術移転を目指した首都圏北部4大学連合(4u)も2年目の活動推進を行っています。活動の推移・今後の方針等について運営協議会の事務局長にお話いただきます。



首都圏北部4大学連合 運営協議会 事務局長
群馬大学 教授 伊藤 正実

首都圏北部4大学連合(4u)の事業は、文部科学省産学官連携戦略展開事業に採択され、関東経済産業局から首都圏北部地域産業活性化推進ネットワークを通じて支援を受け、宇都宮大学、埼玉大学、群馬大学、茨城大学の4つの大学が進めている産学官連携事業である。具体的には、それぞれの大学が、地域ブランド創出分科会(主担当 茨城大学)、知財人材の教育・啓発分科会(主担当 宇都宮大学)、技術移転分科会(主担当 群馬大学)、研究シーズ創出分科会(主担当 埼玉大学)の4つの分科会を同時進行させて、4県に跨る産学官連携活動を推進しようとするものである。

地域ブランド創出分科会では、産学官連携を地域企業に浸透させる事を目的として、4大学と地域企業の連携・事業化事例を調査した結果を発刊し、この事業化事例等の発表会を平成22年2月23日に桐生市の地場産業活性化センターで開催する。知財人材の教育・啓発分科会では、4時間×4回の弁理士チャレンジ講座のプログラム開発をおこない、これを弁理士事務所が比較的少ない栃木県と群馬県で開催した。本講座は、両会場とも定員一杯(約50人)の参加者が集まり盛況であった。また、地元の中企業対象の知的財産セミナーを2月5日に日立市で開催する。技術移転分科会では、地域での研究発表会(キャラバン隊)を3回(小山市(平成21年4月17日)、日立市(平成21年11月12日)、さいたま市(平成22年1月27日))及びJSTの新技术説明会(東京・市ヶ谷)を平成21年7月14、15日に開催した。キャラバン隊での発表会については、開催地の地方公共団体や商工会議所等と連携



し、地元産業界のニーズにマッチした企画内容にすること、大学の出願発明の説明というスタイルに必ずしもこだわらず、地元企業にとって有益な”大学で培った知”についての発表にすること等について、4u関係者と議論し、合意形成をした。これにより、発表会の性格は、大学保有の出願発明の発表会から、地元企業のニーズにマッチした研究発表会に変わったと考えており、具体的な成果も今後さらに期待できよう。これ以外に、4uの研究室紹介・シーズ集の発行についても平成22年2月頃を目途に行うが、4大学が各県で連携している

大学等高等教育機関の研究テーマも盛り込んだ。研究シーズ創出分科会では、”食の安全と健康”をテーマに各大学で関連のテーマを出していただき、大学間連携の研究プロジェクトや研究会の構築を進めている。ある意味では産学官連携プロジェクトより、大学間連携のプロジェクトのコーディネートのほうが難易度は高いが、共通のテーマで異なる大学、異なる専門性を持つ大学教員同士と一緒に研究をおこなうことによるシナジー効果で新たなシーズの創出が今後期待される。この成果の公表については平成22年度以降になろう。

一方、北関東の産業クラスターである首都圏北部地域産業活性化推進ネットワークと4uが連携し、地域の中小企業からの技術相談に対応するスキームを構築した事も今年度の成果である。

以上が、平成21年度の首都圏北部4大学連合の活動であるが、今後、平成22年3月9日に開催される運営協議会及び有識者会議で今年度の活動について報告し、外部の方のご意見を踏まえつつ関係者との議論を深めた上で、平成22年度の活動を進めていきたいと考える。

4u 活動報告（平成21年6月～12月）

地域ブランド創出分科会（主担当：茨城大学、副担当：埼玉大学）の活動

1. 地域ブランド創出・支援テーマの推進

茨城地区での創出・支援テーマ決定、活動開始

- (1) バイオ燃料プロジェクトでの副産物の有効活用（プロジェクトテーマ）
- (2) 常陸太田特産ぶどうを使った機能性ジュースの開発（共同研究）
- (3) ヤーコン（農作物）の需要創造活動

活動内容

- ・ 検討会議開催（7月14日）：4大学の関係者で活動方針等について検討
茨城大学の取り組みをモデルケースとし、そこで得られた
ノウハウやスキームを他地域展開することにしました。
- ・ キックオフ実施：上記テーマ（1）、（3）
- ・ 関係機関との連携コーディネート、助成金申請の支援
- ・ 展示会等の出展支援
- ・ 地域ブランドに関連する技術相談対応（納豆、日本酒等）



2. 産学官連携事例集発刊ならびに事例講演会の開催

- ・ 目的・対象の明確化：首都圏北部地域を中心とした特徴ある産学官連携事例を紹介し、地域ブランド化に向けての地域活性化、中小企業の技術力・ブランド力向上、海外展開等を支援。
- ・ 4大学から連携事例を収集、24件の候補をリストアップしました。

知財人材の教育・啓発分科会（主担当：宇都宮大学、副担当：群馬大学）の活動

1. 弁理士チャレンジ講座（栃木と群馬の2会場で開催）

10月10日～10月31日の毎週土曜日（4回）午後1時～5時、宇都宮大学・陽東キャンパスで「弁理士チャレンジ講座」を開催しました。

また、11月14日～12月12日の土曜日（4回）午後1時～5時には、群馬大学・桐生キャンパスにおいて同じ講師陣、内容で開催しました。

受講申込は栃木58名、群馬50名で、受講延べ人数は318名（栃木165名、群馬153名）でした。半数以上の受講者は社会人であり、一般的に知識を増やしたいというのが主な受講目的でした。



講義内容は、下記のとおりです。

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| (1) 理系のための法学入門 | 阿部・井窪・片山法律事務所 | 弁護士 井窪保彦 |
| (2) 特許法1 | 大場国際特許事務所 | 弁理士 大場充 |
| (3) 特許法2、実用新案法 | 羽鳥国際特許事務所 | 弁理士 羽鳥修 |
| 特許法3、実用新案法 | 宇都宮大学知的財産センター | 特任教授 弁理士 近藤三雄 |
| (4) 意匠法・商標法 | 東京しらかば国際特許事務所 | 弁理士 吉村俊一 |

なお、井窪弁理士、大場弁理士、羽鳥弁理士、吉村弁理士は宇都宮大学の客員教授です。



技術移転分科会（主担当：群馬大学、副担当：茨城大学）の活動

1. 科学技術振興機構（JST）支援「首都圏北部4大学発新技術説明会」を7月14、15日の両日、4u及びJSTの主催、中小企業基盤整備機構の後援でJSTホール（東京・市ヶ谷）において開催しました。

説明件数は各大学から各5件の合計20件で、その内訳は

1日目：ライフサイエンス、バイオ、材料関連を中心に10件、

2日目：エネルギー、計測、情報通信、ナノテク・材料で10件でした。

来場者数は昨年比約40%増で、説明後の個別相談件数は昨年比約60%増と好評でした。



2. 各県持ち回りでを行っている新技術説明会キャラバン隊として、第7回を11月12日に日立市にて開催しました（開催担当：茨城大学）。なお、キャラバン隊は関東経済産業局の支援を得て「産学官連携による首都圏北部技術移転等促進事業」として開催しているものです。

今回から開催方針を変え、従来の大学知財シーズ発信型から開催地域の企業ニーズ重視型に転換して開催しました。地域企業の要望等に基づき「中小企業のビジネスチャンスを探る」をメインテーマとし、具体的発表テーマを“自動車部品関連”、“機械加工の高度化”“新エネルギー”として、各大学から6件の発表が行われました。各発表後には質疑応答の時間も設けられ、活発なやりとりが行われるシーンも見受けられました。なお、設定テーマに関連し自動車メーカーの動向に強い関心が寄せられていたことから、大手自動車メーカー様から「最近の自動車動向」と題した特別講演もいただきました。当日の参加者は146名と過去最高でした。



研究シーズ創出分科会（主担当：埼玉大学、副担当：宇都宮大学）の活動

1. 「研究シーズ創出研究会」を6月12日開催し、下記事項を決定しました。（於 埼玉大学）
 - (1) 4 uの研究者が集まり産学官連携の研究会による、4 u型のシーズ発信モデルを創出します。
 - (2) 組織体制としては、「産学官連携研究会」は4 uの産学連携・知財部門担当教授と産官代表にて構成する意志決定機関、「研究シーズ創出研究会」は4 u事務局及び担当コーディネーターにて構成するワーキンググループとしました。
 - (3) 具体的研究会の企画・推進：
 - ・本年度は、医工農商の研究会に絞って取り組むこととし、テーマ名を「医工農商連携～食の安全と健康研究会」としました。
 - ・4大学教員に対し「食の安全と健康研究会」への参加呼びかけを行いました（8月末集約）。
2. 教員への食の安全と健康研究会への参画呼びかけ結果
 - ・4大学教員に対し研究会への参加を呼びかけた結果、茨城大学（2）、宇都宮大学（2）、群馬大学（3）及び埼玉大学（2）の合計9テーマが寄せられました。
 - ・また上記9テーマに対し、4大学延べ合計で21名の教員から協力・連携の申し入れがありました。テーマ出し教員と呼びかけに応じた教員とを交え今後の取り組み方法を調整しています。

全体・事務局の活動

- 4 u全体・事務局と各分科会活動等を紹介します。
 1. 4 u活動推進のための広報活動の一環として、6月20日、21日の両日京都市での第8回産学官連携推進会議にて、4 u各大学の出展ブースの中央に4 uブースを設け4 u活動の広報を行いました。
 2. 6月22日、前橋市にて開催された第5回群馬産学官連携推進会議にも4 uブースを設け活動の広報を行いました。
 3. 4 uホームページに各イベント等の活動について掲載しています。説明会資料、研究室紹介・シーズ集も公開しています。
<http://www.ccr.gunma-u.ac.jp/4u/index.html>
 4. 活動の推進、連携強化への取り組みとして、下記の会議等を開催し、活動の方向を定めて進めています。
 - (1) 事務局会議：4 u全体及び分科会活動の方向性、計画検討等
 - (2) 4 u担当者会議：相互の情報共有化、活動推進を目的に開催
 - (3) 首都圏北部地域産業活性化推進ネットワーク（事務局：北関東産官学研究会）と活動推進のために随時、打合せを実施



今後の4u活動計画

地域ブランド創出分科会の活動

1. 地域ブランド創出、支援テーマの推進として、茨城大学の取り組みを中心に3月に「地域ブランド創出活動報告会」を開催します。報告テーマ（候補）は、機能性ぶどうジュースの開発、ヤーコン（農作物）の新需要創造活動、納豆に関する支援開拓活動です。
2. 4大学（地域）を中心とした特徴ある産学官連携事例を紹介する「産学官連携事例集」を2月中旬に発刊します。また、「産学官事例講演会」を2月23日（火）に群馬県桐生市で開催します。

知財人材の教育・啓発分科会の活動

1. 第2回知財実践セミナーを、2月5日(金)に茨城大学工学部(日立)で開催します。内容としては、
(1)中小企業こそ知的財産権を武器に！(山口大学 佐田教授)
(2)元気企業の特許戦略事例・活用事例(茨城県中小企業公社 金子総括テクノエキスパート他)
(3)最近の知財関連法改正等の紹介(宇都宮大学 近藤特任教授)
2. 同日午前中には、佐田教授と4u関係者として知財教育についての意見交換会を持つ予定です。

技術移転分科会の活動

1. 第8回新技術説明会キャラバン隊を、1月27日(水)にさいたま市にて開催します。
2. 研究室紹介・シーズ集(4u)第3号を2月中旬に発刊します。今回は、4大学と連携している公私立大学等高等教育機関を含めた研究室紹介・シーズ集として発刊します。

研究シーズ創出分科会の活動

1. 「食の安全と健康研究会」のテーマ毎の研究分科会を立ち上げ推進します。
2. 研究分科会は、外部講師の招聘や文献情報の収集等により時機を得た有力な研究テーマの発掘に努め、公的助成金の獲得にも留意して取り組み、年度末には実施した各研究分科会毎にその成果をまとめます。

全体・事務局の活動

1. 11月に持ち回り運営協議会、3月9日(火)に有識者会議との合同開催をします。
2. 4uニュースの発刊、4uホームページの充実を図り、また、彩の国ビジネスアリーナ2010・産学連携フェアへ、4u各大学とともに4uブースの出展を行い、活動の広報に努めます。
3. 各大学が連携する公私立大学に、分科会活動等への参画要請をします。

4 大学のトピック報告

茨城大学 「研究室訪問交流会」開催

茨城大学と茨城産業会議による産学連携事業として、研究室訪問交流会を10月9日に工学部で、11月6日に農学部で開催しました。本交流会は大学の有するシーズの提供や情報交換を通じ産業経済界の活性化に資するもので、例年、多くの県内企業の方々にご参加頂き、貴重な情報が得られると好評です。2月12日には理学部で開催予定です。



宇都宮大学 「地域共生研究開発センター創立20周年」



宇都宮大学創立60周年記念事業の一環として「宇都宮大学地域共生研究開発センター創立20周年」記念式典及び祝賀会を昨年11月6日(金)、宇都宮ホテルニューイタヤで開催しました。式典は約150名、祝賀会も約120名と多数の参加者があり、宇都宮大学地域共生研究開発センターを支えてきていただいた地域の皆様への感謝の気持ちを表す機会を持ってました。今後も「地域に学び、地域に返す 地域と大学の支え合い」のモットーを再認識し、地域社会に貢献できるよう努力します。

群馬大学 「医食工連携講演会、医工連携シンポジウム」開催

群馬大学は前橋工科大学及び群馬県と共催し、イノベーション創出による地域の活性化、住民が健康でいきいきと暮らせる社会実現を目指し、実現に向けた活動を行っています。平成21年度は第1回を8月26日に「医食工連携による講演会」、第2回として12月17日に「医工連携のシンポジウム」を開催しました。ともに、一般市民、企業や学校関係者など120名を越える方々に参加いただき、健康や新たな産業創出、安心・安全な地域医療・福祉の確保について考えました。



埼玉大学 「第7回テクノ・カフェ」の開催迫る！

上記を、2月9日(火) 13:10~17:10、「大学会館」で開催いたします。「表面改質関連」がテーマで、住友精密工業株式会社技師長・八木良蔵氏をゲストに迎え「航空機脚を支える各種表面改質概要」のご講演を頂きます。このほか本学の関連の研究活動とその成果も紹介します。コーヒーブレイク時にはコーヒーとケーキで、参加される皆様との懇談をお楽しみ下さい。詳細内容とお申込は下記の本学HPをご覧ください。

<http://www.saitama-u.ac.jp/event/20100105.html>